

# ちーむ

TAKANISHI

生徒指導通信（No. 6）

平成30年 9月 3日（月）

尾道市立高西中学校生徒指導部

9月になりましたが、まだまだ暑い日が続いています。夏休みはどうだったでしょうか。特に大きな問題はなかったようですが、フジグランのゲームコーナーでのマナーが課題で、「保護者同伴以外の生徒は行ってはいけないのでは」という指摘があり、定期的に見回りをし、いた生徒は帰らせるということをしました。今後は「フジグランのゲームコーナーは保護者同伴のこと」で指導しますので、よろしくお願いします。

授業は、8月24日（金）からスタートしています。例年になく暑いので、「8月は体操服で登校や授業を受けてもいい」としていましたが、9月より制服になります。

## 豪雨災害！

7月6日（金）大雨による警報で学校は休校となりました。夜になって激しく降り出した雨のため、広島県各地で『大雨特別警報』『避難指示』が発令されました。夜近くの小学校へ避難し一夜を過ごした教員もいました。7月7日（土）未明から、土砂崩れで住宅が流される、道路を塞いで通行止め、河川の土手が切れて浸水の被害など、各地での『豪雨による災害』が発生しました。その後、地域によっては停電や断水が起こり、復旧まで長期にわたりました。本校も7月17日（火）まで休校となり、授業や三者懇談など、いろいろな行事が中止となりました。

現在も自衛隊や地元の方が、復旧に向けて頑張っておられます。また、各地からもたくさんボランティアの方が来られて、猛暑のなか復旧作業にあたられています。高西中学校区は、土砂災害が何カ所かで起こりましたが、人的な被害はほとんどなく、生徒達は元気に登校しています。

## ボランティア精神

さて、「ボランティア」といえば、この夏『スーパーボランティア』という言葉をよく耳にしました。山口県の周防大島町で行方不明になった2歳の男の子を、駆けつけた尾島さんが、68時間ぶりに発見し、無事救出することができました。78歳の男性でねじり鉢巻きの姿が特徴で、過去にも、災害が起きるたびに各地に出向きボランティア活動をされてきました。東日本大震災では2年間泥かきや遺品探し。熊本地震や九州北部豪雨などにも駆けつけボランティア活動をされました。以前にも大分県で行方不明になった2歳の女の子を見つけたこともあります。この『尾島の生き方』について、今も

テレビなどのマスコミが取り上げ、いろいろな報道をしています。

ボランティア精神の底にあるのは何なのでしょう。尾畠さんは「すべて自己責任」「食料なども自給自足で、寝具もボロボロで作った寝袋。ボランティアに来て、人からものを頼ったり、もらったりするのは違う。『自己完結』『自己責任』怪我をしても自己責任」「何があっても、自分で責任をとらん方が悪い」鉢巻き姿で、大きな荷物を担ぎ、山から男の子を抱いてもどってこられ、直接母親に渡された姿が印象的でした。

「世の中に重たいものはいっぱいあると思いますけど、人の命より重いものはこの地球にはないと思っています」「だから、年齢・性別関係なく、自分ができるだけのことはお手伝いさせてもらいたいと思って、大分から出て来たわけです。よしきくんに出会わせてくれて、元気に下りられたことは、私の最高の幸せです」と言われていました。

8月19日(日)校内環境整備があり、今年も多くの生徒や保護者の方が自主的に集まって校内・校外・苗の植え替えなど、進んでよく活動しました。お疲れ様でした。帰りには、PTAが用意された飲み物をいただいて、渴いたのを潤しました。ただ残念だったのは、帰りの坂道にペットボトルが何個か転がっていました・・・。

『ボランティア』っていったい何なんだろうという声も出ました。



2学期は、いろいろな行事があります。

1年生は、10月4日(木)に『福祉ボランティア体験』を行います。

2年生は、9月6日(木)～9月12日(水)5日間『職場体験学習』を行います。

そこでの『体験活動』も大切ですが、その『精神』を学んで欲しいと願っています。

【その他】11月10日(土)鶴ヶ丘祭、12月5日(水)～7日(金)2年生修学旅行

通信を見られて、意見や感想をお寄せ下さい。

( )年( )組( )番( )

No. 6